

福井県におけるツルクイナ*Gallicrex cinerea*の初記録

藤本 尚子*・出口 翔大**

The first record of Watercock *Gallicrex cinerea* in Fukui Prefecture

Takako FUJIMOTO* and Shota DEGUCHI**

(要旨) 2021年9月2日から8日にかけて福井県越前市東部の水田地帯にてツルクイナ*Gallicrex cinerea*雄をバン*Gallinula chloropus*幼鳥などとともに観察した。本個体は羽衣などから雄の第一回夏羽と考えられた。本記録は本種の福井県において初記録となった。

キーワード：雄，第一回夏羽，水田地帯，越前市，バン *Gallinula chloropus*

ツルクイナ*Gallicrex cinerea*はツル目クイナ科に属する鳥類で、アジアに分布し、インドおよびスリランカ、インドシナ半島、マレー半島、フィリピン、スンダ諸島、中国、ウスリー南部、韓国で繁殖する。日本では八重山諸島に留鳥として生息するほか、稀な旅鳥または冬鳥として全国から記録がある(真木ほか, 2014; 日本鳥学会, 2024)。本種はこれまでに、石川県や富山県、岐阜県、滋賀県、京都府などの福井県と隣接する府県では記録があるものの(日本鳥学会, 2024)、本県では記録がない(日本野鳥の会福井県, 2011; 日本鳥学会, 2024)。筆者らは福井県越前市の水田地帯にて本種を確認したので報告する。

2021年9月2日に福井県越前市東部の水田地帯において本種1羽を確認した。その後、9月3日以降も観察され、9月8日に終認となった。本個体は周囲で観察されたバン*Gallinula chloropus*よりもやや大きく(図1)、全体に灰黒色で(図2a, b)、上面には淡黄褐色の羽縁が目立った(図2c)。嘴は橙黄色で、未発達ながらもすみがかかった赤色の額板も認められた(図2d)。これらの特徴から本個体は雄第一回夏羽と考えられた(真木ほか, 2014)。類似するバンには脇腹に目立つ白斑があり(水谷・叶内, 2017)、エリマキシギ*Calidris pugnax*の幼鳥もしくは冬羽は体が小さく嘴も細く(真木ほか, 2014)、また本個体に見られたような



図1. 2021年9月に福井県越前市で観察されたツルクイナ。aの実線矢印は当該個体を示し、点線矢印はバン幼鳥を示す。その他、共に写っているのはジシギ類(撮影：藤本尚子)。本図のカラー版は福井市自然史博物館ホームページにて閲覧可能(<https://www.nature.museum.city.fukui.fukui.jp/shuppan/kenpou/kenpou.html>)。

Fig. 1. A Watercock observed in Echizen City, Fukui Prefecture, Japan, in September 2021. In figure 1a, solid arrows indicate the individual, and dotted arrows indicate juvenile Common Moorhen. Other bird in the photo are snipe *Gallinago* sp. (Photographed by T.Fujimoto). Color figure is available in Fukui City Museum of Natural History's HP.

* 日本野鳥の会福井県 〒911-0804 福井県勝山市元町3-6-48

WBSJ Fukui. Moto-machi 3-6-48, Katsuyama, Fukui 911-0804, Japan

** 責任著者

福井市自然史博物館, 〒918-8006 福井県福井市足羽上町147

Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui city, Fukui 918-8006, Japan

草やぶの中に潜行する行動（後述）はとらない点で異なる（高野，2007）．本個体は刈田と休耕田の境の草やぶから30分に一度の頻度で，草やぶからせいぜい2mの距離まで出てきては，水田の地面をついたり（図3a），刈り残された垂れ下がる稲の穂をついばんだりする行動が観察された（図3b）．また翼を伸ばす行動も観察された（図3c）．警戒心が高く，周辺で同じく観察されたジシギ類の「ジェッ」という鳴き声にはすぐに頸を伸ばし，草やぶへと入った．

その際，草やぶの奥に入り込み見失うというよりは草かげでじっとしていた（図3d）．

福井県ではクイナ科の鳥類はクイナ *Rallus indicus*，シロハラクイナ *Amaurornis phoenicurus*（柳町，2018），ヒクイナ *Zapornia fusca*（出口，2017），ヒメクイナ *Z. pusilla*，バン，オオバン *Fulica atra*の記録があるものの，本種の記録はこれまでなく（日本野鳥の会福井県，2011；日本鳥学会，2024），本記録は本種の福井県における初記録と考えられる．



図2．2021年9月に福井県越前市で観察されたツルクイナ（撮影：藤本尚子aおよびc；出口翔大bおよびd）．本図のカラー版は福井市自然史博物館ホームページにて閲覧可能（<https://www.nature.museum.city.fukui.fukui.jp/shuppan/kenpou/kenpou.html>）．

Fig. 2. A Watercock observed in Echizen City, Fukui Prefecture, Japan, in September 2021. (Photographed by T. Fujimoto a and c, S. Deguchi b and d). Color figure is available in Fukui City Museum of Natural History's HP.



図3．2021年9月に福井県越前市で観察されたツルクイナの行動（撮影：藤本尚子）．本図のカラー版は福井市自然史博物館ホームページにて閲覧可能（<https://www.nature.museum.city.fukui.fukui.jp/shuppan/kenpou/kenpou.html>）．

Fig. 3. Observed behavior of the Watercock in Echizen City, Fukui Prefecture, Japan, in September 2021. (Photographed by T. Fujimoto). Color figure is available in Fukui City Museum of Natural History's HP.

引用文献

- 出口翔大, 2017, ヒクイナ *Porzana fusca* の福井市南西部における生息調査および福井県内の過去の生息記録. 福井市自然史博物館研究報告, (64), 49-54.
- 真木広造・大西敏一・五百澤日丸, 2014, 決定版日本の野鳥650. 平凡社, 788p.
- 水谷高英・叶内拓哉, 2017, フィールド図鑑 日本の野鳥. 文一総合出版, 431p.
- 高野伸二, 2007, フィールドガイド 日本の野鳥増補改訂版. 日本野鳥の会, 374p.
- 日本野鳥の会福井県, 2011, 福井の探鳥地100. 日本野鳥の会福井県, 243p.
- 日本鳥学会, 2024, 日本鳥類目録改訂第8版. 日本鳥学会, 472p.
- 柳町邦光, 2018, シロハラクイナ *Amaurornis phoenicurus* 2017年 福井県内で初記録. Ciconia (福井県自然保護センター研究報告), **21**, 23-24.

謝 辞

横山大八氏および出口さおり氏には本個体の観察をサポートいただいた. ここに記して御礼申し上げる.

Abstract

A male Watercock *Gallinella gallinulex* was observed with a juvenile Common Moorhen *Gallinula chloropus* in a rice paddy field in Echizen City, Fukui Prefecture, Japan, from September 2 to 8, 2021. Based on plumage, this individual was considered to be the first summer plumage of the male. This is the first record of this species in Fukui Prefecture.

Key words

Male, First summer, Paddy fields, Echizen city, Common Moorhen *Gallinula chloropus*

